

環境都市にふさわしい鉄道駅などを中心とした コンパクトなまちづくり

計画概要

◆計画期間 平成23年度～平成27年度

◆計画の目標

1. 鉄道駅などを中心としたコンパクトシティの実現
2. 環境モデル都市にふさわしい低炭素社会の具現化
3. 環境にやさしい緑のオープンスペースの形成

◆計画の成果目標（定量的指標）

指標①：市街地整備実施中の拠点市街地における鉄道駅乗降客数（1日平均）

現況値(H23)60,783人／日 ⇒ 目標値(H27) 65,548人／日

指標②：区画整理区域内の宅地化割合

現況値(H23)13% ⇒ 目標値(H27) 29%(H27)に拡大

指標③：拠点市街地（浄水地区等）におけるCO2吸収増加量

現況値(H23)0kg-CO2 ⇒ 目標値(H27) 12,879kg-CO2(H27)に増加

指標④：更新が完了した公園施設数／更新が必要な全公園施設数

現況値(H25)0% (0/1,706) ⇒ 目標値(H26) 3.2% (55/1,706)

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
A 基幹事業 (全19事業)	12,095百万円	市街地再開発、土地区画整理等のまちづくり事業や公園・緑地整備等の各事業実施し、計画通りの進捗となった。なお、全19事業のうち2事業は交付金対象事業としなかったが、計画通り整備を実施した。	100%
B 関連社会資本整備事業 (全5事業)	2,548百万円	市街地再開発や土地区画整理に併せた道路整備事業を実施し、計画通りの進捗となった。	100%
C 効果促進事業 (全9事業)	1,849百万円	まちづくり事業を促進するための、都心地区の活性化を促進する事業や、「低炭素社会モデル地区」整備の効果を促進するための交通システムを導入するための実証実験等の7事業を実施した。 未実施となった2事業のうち、1事業は平成29年度に実施予定であり、1事業は取りやめとなっている。	77.8%
合 計	16,492百万円		

※事業費は交付金対象事業費の実績額

※進捗率(%)は各事業の計画に対する実施割合 【事業数ベース】

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

【基幹事業】

A-3 豊田市豊田都心（センターコア）地区都市再生整備計画事業

関連する定量的指標

指標①：市街地整備実施中の拠点市街地における鉄道駅乗降客数（1日平均）

現況値(H23)60,783人／日 ⇒ 目標値（H27）65,548人／日

（市）蔵前陣中線
無電柱化事業



地域交流センター
整備事業



◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

【基幹事業】

A-3 豊田市豊田都心（センターコア）地区都市再生整備計画事業

■事業効果

- ・道路の無電柱化や景観整備、地域交流センター整備等により都心機能が強化された。
- ・鉄道利用者が増加し、都心部の歩行者交通量の増加、福祉施設利用の促進が見られた。

	(H23)		(H27)
豊田市駅利用者	27,465人/日	⇒	32,946人/日
新豊田駅利用者	11,381人/日	⇒	13,568人/日

計 38,846人/日 ⇒ 46,514人/日（約20%、7,668人/日 増）

その他の事業効果

補完指標① 豊田都心（センターコア）地区内の居住人口
16,922人 ⇒ 18,138人

補完指標② 中心市街地歩行者交通量
77,353人/日 ⇒ 86,730人/日

補完指標③ 地域交流センター 施設利用者数
5,700人/月 ⇒ 16,433人/月

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- 【基幹事業】 A-5 豊田市豊田土橋地区都市再生整備計画
 A-15 豊田土橋土地区画整理事業

関連する定量的指標

指標①：市街地整備実施中の拠点市街地における鉄道駅乗降客数（1日平均）

現況値(H23)60,783人／日 ⇒ 目標値（H27）65,548人／日

指標②：区画整理区域内の宅地化割合

（土地区画整理法76条における許可申請に基づき建築行為が許可された敷地面積合計と区画整理区域計画宅地面積に対する割合）

現況値（H23）13% ⇒ 目標値（H27）29%



◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

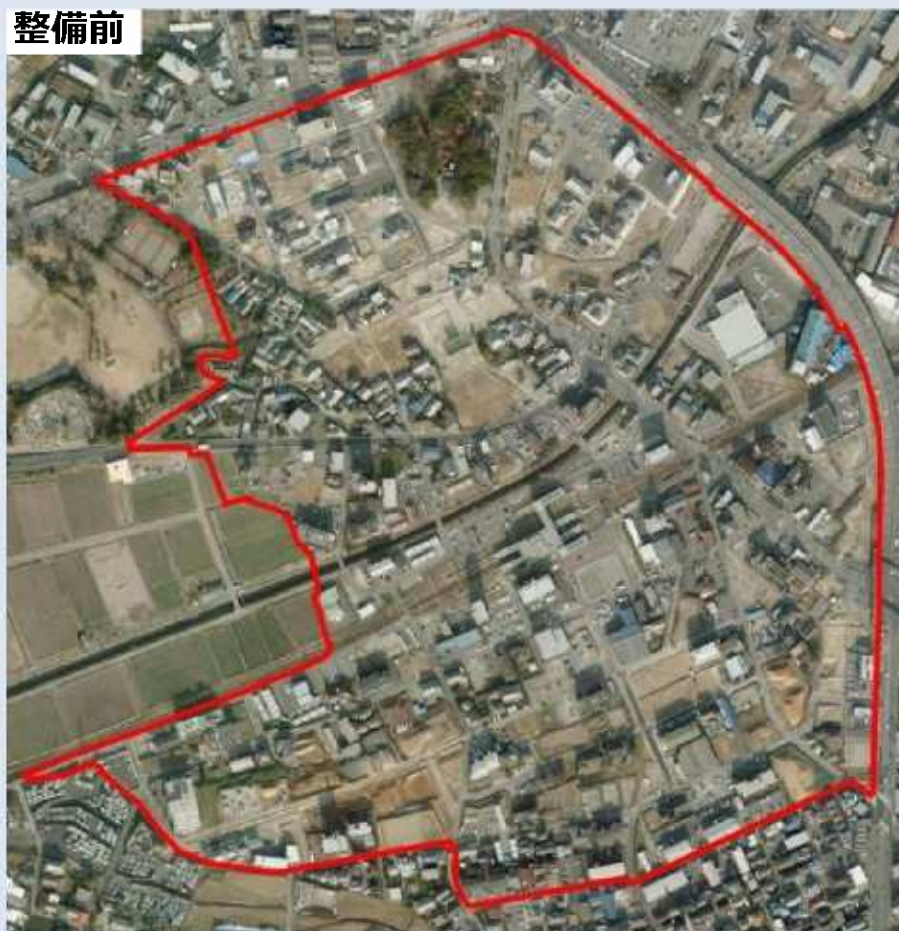
【基幹事業】

A-5 豊田市豊田土橋地区都市再生整備計画

A-15 豊田土橋土地区画整理事業

(平成23年度)

整備前



(平成27年度)

整備後



◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

【【基幹事業】】

A-5 豊田市豊田土橋地区都市再生整備計画

A-15 豊田土橋土地区画整理事業

■事業効果

- ・都市基盤の整備による交通環境、都市防災機能の向上が図られ、鉄道利用者の増加や都市的土地利用の促進等の効果が見られた。

土橋駅利用者

5,435人/日（H23） ⇒ 7,330人/日（H27）（約35%、1,895人増）

土橋地区区画整理区域内の宅地化割合

32%（H23） ⇒ 58%（H27）（約26% 増）

その他の事業効果

補完指標④ 豊田市の住みやすさ

（旧豊田市（藤岡、小原、足助、下山、旭、稲武以外））

68.9% ⇒ 74.1%

（竜神地区） **75.6%**

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

【基幹事業】

A-9 吸収源対策公園緑地事業（浄水地区）

関連する定量的指標

指標③：拠点市街地におけるCO2吸収増加量

現況値（H23） $0\text{kg-CO}_2 \Rightarrow$ 目標値（H27） $12,879\text{kg-CO}_2$



◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

整備前



整備後



◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

【基幹事業】

A-9 吸収源対策公園緑地事業（浄水地区）

■事業効果

- ・公園整備及び高木植栽の実施により、環境負荷の低減が図られた。

公園名		平成27年度末				CO2吸収 増加量 (kg-CO2)
		高木植栽 合計 (本)	高木による 炭素ストック量 (kg-CO2)	整備面積 (ha)	都市公園温室 効果ガス吸収量 (kg-CO2)	
浄水地区	浄水公園	114	3,807.6	2.00	608.6	4,416.2
	かえで公園	11	367.4	0.25	76.1	443.5
	はなみずき公園	14	467.6	0.24	73.0	540.6
	伊保原公園	18	601.2	0.23	70.0	671.2
	なかよしの道公園	3	100.2	0.34	103.5	203.7
	けやき公園	5	167.0	0.15	45.6	212.6
	南平公園	0	0.0	0	0.0	0.0
計		189	5,511.0	3.21	976.8	6,487.8

その他の事業効果

補完指標⑤ 公園・緑地に関する満足度
(旧豊田市（藤岡、小原、足助、下山、旭、稲武以外）)

49.5% ⇒ 51.6%

(梅坪台地区) **56.2%**

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

【基幹事業】

- A-10 公園施設長寿命化計画策定調査
- A-17 公園施設長寿命化対策支援事業

関連する定量的指標

指標④：更新が完了した公園施設数/更新が必要な全公園施設数

現況値（H23） 0% ⇒ 目標値（H27） 3.2%

0/1,706 ⇒ 55/1,706

整備前



整備後



◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

【基幹事業】

- A-10 公園施設長寿命化計画策定調査
- A-17 公園施設長寿命化対策支援事業

■事業効果

- ・公園施設長寿命化計画に従い公園施設の改築が実施された。

長寿命化計画に基づく更新率	(H25) 0%	⇒	(H26) 2.3%
	0/1,706	⇒	40/1,706

その他の事業効果

補完指標⑤ 公園・緑地に関する満足度（再掲）
49.5% ⇒ 51.6%

補完指標⑥ 健康づくりのまちに関する満足度
27.8% ⇒ 38.4%

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①（市街地整備実施中の拠点市街地における鉄道駅乗降客数）

当初現況値	60,783人/日	目標値と実績値に差が出た要因	豊田市駅を中心とした再開発事業や都市再生整備事業の実施により中心市街地の活性化が図られたことや、土地区画整理事業の実施により、良好な住宅地が整備されたことが、鉄道駅の乗降客数が目標値を上回る主な要因と考えられる。
最終目標値	65,548人/日		
最終実績値	73,586人/日		

指標②（区画整理区域内の宅地化割合）

当初現況値	13%	目標値と実績値に差が出た要因	区画整理事業の進捗に伴い、土橋地区における都市的土地利用の意向が高まり、これまでの実績を大きく上回る勢いで宅地化が進んだため、目標値を上回る結果となった。
最終目標値	29%		
最終実績値	33%		

指標③（拠点市街地（浄水地区等）におけるCO₂吸収増加量）

当初現況値	0kg-CO ₂	目標値と実績値に差が出た要因	事業期間の見直しにより、高木植栽の実施が計画期間外へ延期となったため、目標値を下回る結果となったが、次期整備計画で実施される公園整備を見込むと、CO ₂ 吸収量は12,078kg-CO ₂ となり、概ね目標値は達成される。
最終目標値	12,879kg-CO ₂		
最終実績値	10,930kg-CO ₂		

指標④（公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築を行い、改築が必要な公園施設の更新率）

当初現況値	0%	目標値と実績値に差が出た要因	当整備計画では、更新が必要な1,706施設のうち55施設の改築を予定していたが、実施時期の見直しにより40施設の更新に留まった。ただし、他の整備計画にて151施設を更新しているため、実際の施設更新率は11.2%となる。
最終目標値	3.2%		
最終実績値	2.3%		

◆今後の方針

- ・本整備計画の事業は、概ね予定通りに事業が実施され、中心市街地や駅周辺地区における駅利用者の増加や市街地における基盤整備などの目標も達成することができた。
- ・再開発事業や土地区画整理等の継続事業については、次期整備計画にて引き続き事業を推進し、更なる整備効果の増進を図る。
- ・本整備計画から実施を見送った一部の事業については、次期整備計画において確実に実施し、事業効果の早期発現を目指す。

◆事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価委員会を開催し、評価を実施。
事後評価の実施時期	平成29年1月 組織改編により、現在は市街地整備課です
公表の方法	豊田市 <u>区画整理1課</u> ホームページに記載 http://www.city.toyota.aichi.jp/shisei/gyoseikeikaku/toshiseibi/1007566.html